



よこすか通信 【第5号】



八幡市議会議員
よこすか生也

八幡市議会議員の横須賀生也(よこすかいくや)と申します。
 昨年4月に実施された八幡市議会議員選挙におきましては、多くの方からご支援を賜り、2期目の当選をさせて頂き、誠にありがとうございました。
 市議会では本会議や委員会等において、市政に対する多くの質問や要望を行っています。すぐに改善、解決しない事も沢山ありますが、様々な課題解決のため、地道に取り組んで参ります。まだまだ微力ではございますが、これまでの経験や知識を活かし、八幡市の発展のために活動して参ります。

議会活動等を通じて、実現した主な事項は以下の通りです

市道橋本南山線右折レーン延伸等

渋滞緩和の為に、市道橋本南山線(かつては寿司前の道)と、国道1号線との交差点の南行き右折レーンの延伸と、右折レーン手前のゼブラゾーンが消えていたので、改善するよう令和4年末に市の道路河川課に要望していました。約年後、右折レーンは倍ほどに伸び、手前のゼブラゾーンもかき直されました。



街路灯新設(男山長沢)



令和4年に男山長沢地域の方から、住宅街の道路が暗いので、街路灯を新設して欲しいと要望を受けていました。この街路灯は、

数年前に自治会から市に要望しましたが、却下された経緯がありました。近くに設置されている街路灯は、民家から伸びた木の枝によりあまり機能を果たしていない事などを指摘し、結果的に令和5年3月末に街路灯が新設されました。

学校給食費の段階的無償化

令和4年11月に、子育て環境の充実を求める請願の紹介議員の一員となり、学校給食費の無償化を要望していました。令和6年度から、市内公立小中学校と八幡支援学校小中学校に通う児童・生徒、及び市の飛び地に在住し京都市が指定する公立小中学校に通う児童・生徒を対象に、給食費の約1/4を市が助成し、給食費の段階的な無償化が実現しています。

中学校部活動の地域移行に向けた段階的な移行検討

令和3年9月の一般質問にて、教員の負担軽減や働き方改革の為に、部活動の地域移行を進めるべきだと要望していました。その後、令和4年度に部活動の地域移行に向けた準備委員会が立ち上がり、令和5年度に地域部活動検討委員会が設置されました。今後は

休日部活動の段階的な移行として、1校1部活程度を目標に事例検証を進めていく予定です。

満18歳年度末まで子育て支援医療費支給制度拡充

令和4年11月に、子育て環境の充実を求める請願の紹介議員の一員となり、子どもの入院・通院にかかる医療費を助成する制度である、子育て支援医療費支給制度の対象年齢を満18歳年度末まで拡充することを要望していました。その後、入院に関しては令和5年4月から、通院に関しては令和6年4月診療分から、子育て支援医療費支給制度の対象年齢が満18歳年度末までに拡充されました。

パートナーシップ宣誓制度の導入検討

いわゆるパートナーシップ制度とは、自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明書を発行する制度です。枚方市、長岡京市、京都市などの近隣自治体でも導入する自治体が増えていることから、令和4年3月の代表質問において、八幡市でも導入を検討するよう要望していましたが、今年度から導入に向けて当事者の方々の声を聞きながら、望まれる制度となる様に検討していく事になりました。

